

審査票

記入例

申請者氏名	受験番号	奨学金	1. 日本学生支援機構(※ 第一種・第二種・併用) (月額 88千円)	奨学金年額
富山 健太	123456	* 貸与中 1. 貸与中 2. 申請予定 3. 無し	2. 自治体奨学金(名称:) (月額 千円)	1,056 千円
			3. その他(名称:) (月額 千円)	

	氏名	年齢	職業	現職の就職年月	給与等	年金等	給与等以外の収入	臨時収入	給与等計(控除額)	所得金額
本人	富山 健太	22	学生	—	—	—	—	—	—	—
就学者を除く家族	父	富山 太郎	54	会社員	昭(平) 令元年4月~	千円	千円	千円	千円 (千円)	千円
	母	富山 花子	50	パート	昭(平) 令15年5月~	千円				千円
	祖母	富山 すず	75	無職	昭・平・令 年 月~	千円				千円
	兄	富山 健人	26	会社員	昭(平) 令31年4月~	千円	千円	千円	千円 (千円)	千円
					昭・平 年 月~	千円	千円	千円	千円 (千円)	千円

太枠の外は記入の必要なし

児童手当	受給の有無	R3.1~現在の間で無職になった(失職した)家族について	続柄	氏名	無職になった年月	失業給付	所得金額合計(a)
	* 有・無			年 月~	* 有・無	千円	
	受給額(年額)		退職金				その他収入合計(b)

区分	氏名	年齢	在学学校	通学区分	特別控除額	
就学者	妹	富山 ありす	20	* 1. 小学校 2. 中学校 3. 高校 4. 大学 5. 高専 6. 専修学校(高等課程) 7. 専修学校(専門課程) 私立〇〇大学	* 1. 自宅 2. 自宅外	千円
	弟	富山 健	17	* 1. 小学校 2. 中学校 3. 高校 4. 大学 5. 高専 6. 専修学校(高等課程) 7. 専修学校(専門課程) 県立〇〇高校	* 1. 自宅 2. 自宅外	千円
				* 1. 小学校 2. 中学校 3. 高校 4. 大学 5. 高専 6. 専修学校(高等課程) 7. 専修学校(専門課程)	* 1. 自宅 2. 自宅外	千円
				* 1. 小学校 2. 中学校 3. 高校 4. 大学 5. 高専 6. 専修学校(高等課程) 7. 専修学校(専門課程)	* 1. 自宅 2. 自宅外	千円

区分	内容				審査欄	特別控除額
(* 母子・父子)世帯	* 1. 母 * 死別・生別	児童扶養手当	* 無・有(年額 千円)		該当 非該当	千円
	2. 父 (年 月)		遺族年金 * 無・有(年額 千円)			
障害者(* 有・無)	続柄(祖母)	* 身体	知的・精神	障害年金 * 無(有) 年額 600千円	該当 非該当	千円
	続柄()	* 身体	知的・精神	障害年金 * 無・有(年額 千円)		
長期療養者(* 有・無)	続柄()	療養期間		医療費(年額)	該当 非該当	千円
		年 月 日から現在まで(ヵ月間)	千円			
風水害等の災害を受けた世帯	被災年月日	被災内容		被害額	該当 非該当	千円
	年 月 日			千円		

※色付き太枠内の空欄及び、()について、該当する箇所を全て記入してください。
※*印の欄は、該当するものを○で囲んでください。

総所得金額(A) a+b	千円	特別控除合計(B)	千円
認定所得金額	千円	世帯人数 人 収入基準額	全額 千円 半額 千円
学力	1 成績 () 2 順位 (/)	免除の可否	1. 該当(全額免除・半額免除) 2. 非該当(学力・家計・両方)

担当者チェック欄	
----------	--

○記入方法(注意事項)

※色付き太枠内の空欄及び、()について、該当する箇所を全て記入してください。
※*印の欄は、該当するものを○で囲んでください。

1 【就学者を除く家族】について

- ①同一生計の家族(就学者を除く)を漏れなく記入してください。生計は一であるが別居(単身赴任、施設入所等)している家族も記入してください。
- ②「職業」欄は、必ず記入してください。(例: 会社員、自営業、教員、公務員、パート、アルバイト、主婦、無職 等)
- ③収入(給与等、年金、臨時収入)がある場合は、その職種に応じた各証明書(別紙参照)を添付してください。(金額欄への記入の必要はありません)。
- ④前年中(令和3年1月1日~現在)に失職等した場合は、必要事項を記入してください。(失職した年月、退職金の有無など) また、各証明書(別紙参照)を添付してください。

2 【特別控除】について

- ①各区分について、該当の有無を記入してください。
- ②該当する場合、右欄「内容」について記入してください。
 - (ア) 母子・父子世帯: 母子・父子世帯の控除は、以下の世帯構成の場合に適用します。また、手当や年金等の有無も記入してください。
 - Ⓐ 母又は父と18歳未満の子の世帯
 - Ⓑ 母又は父と18歳未満の子及び60歳以上で経済力のない祖父母の世帯
 - Ⓒ 18歳未満の子の世帯
 - Ⓓ 祖父母と18歳未満の子の世帯
 - Ⓔ 配偶者のいない兄弟と18歳未満の子の世帯
 - Ⓕ 配偶者のいない兄弟と18歳未満の子及び60歳以上で経済力のない祖父母の世帯
 ※18歳以上の就学者(本人を含む)及び長期に療養を要する経済力のない人は、18歳未満の子として扱ってください。
 - (イ) 障害者: 身体障害者の場合、等級が1級又は2級の者
知的障害者の場合、障害の程度が重度(A)の者
精神障害者の場合、等級が1級の者
 - (ウ) 長期療養者: 「申込時現在において6か月以上にわたる期間、療養中の人または療養を必要と認められる人」に適用します。療養を終えた人は対象となりません。診療・治療費、入院費用、医薬品費、介護保険法により要介護認定・要支援認定を受けた人がサービスを利用した場合の自己負担額を計算して記入してください。
 - (エ) 風水害等の災害の被害額: 最低限度の医療、家具の購入費、修理費等を記入してください。※内容が分かる領収書等を添付してください。※被害額や復旧費をそのまま控除するものではありません。

※ 別紙「入学料等免除等申請書に添付する証明書等」をよく読み、添付書類に不足等がないよう十分注意してください。